

2026年5月18日

芙蓉総合リース株式会社  
株式会社インボイス

## 株式会社パソナサステナビリティ共催 GHGプロトコル改定の最新動向と実務対応セミナー開催のお知らせ

この度、芙蓉総合リース株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：織田寛明、以下「芙蓉リース」）の連結子会社である株式会社インボイス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：仁多見 斎、以下「インボイス」）は、株式会社パソナサステナビリティ（代表取締役社長：石田 正則 本社：東京都港区）と、「GHGプロトコル改定の最新動向と今後想定される課題」をテーマとした共催セミナーを開催致します。

開催日時	2026年6月16日(火) 14:00~15:00
セミナー名	本質的な理解を！ GHG プロトコル改定に耐えられますか？ ~2030年をイメージした算定プロセスとその体制づくり~
開催形式	オンライン
参加費	無料
主催	株式会社パソナサステナビリティ・株式会社インボイス
申込URL	<a href="https://energydata.invoice.ne.jp/seminar/20260616seminar.html">https://energydata.invoice.ne.jp/seminar/20260616seminar.html</a> ※セミナー概要ページからの事前お申込となります。

## <セミナー概要>

GHG プロトコル改定の背景から、管理部門・現場実務・電力データ管理までを俯瞰し、将来の制度改定にも耐える算定プロセスと体制づくりのヒントを整理する 4 部構成のセミナーです。

### ・第 1 部：「GHG プロトコル改定の国際的な潮流と本質的な理解」

GHG プロトコル専門作業部会（TWG）メンバーの視点により、GHG プロトコルの背景から各基準の改定ポイント、企業が最低限押さえておきたいポイントを解説。

（登壇者：ゼロボード総研 所長 / GHG プロトコル専門作業部会メンバー 待場智雄氏）

### ・第 2 部：「SSBJ 時代のサステナビリティ推進実務に必要な財務関連情報に対応する部門間連携」

GHG 算定はサステナビリティ部門だけでは完結しない業務へ。経営層、財務・経理、購買部門との連携の必要性を解説。

（登壇者：柏原総合環境会計事務所 税理士 柏原岳人氏）

### ・第 3 部：「GHG プロトコル改定に向けて今から準備すべき算定実務のポイント」

制度改定によって「現場の業務」は具体的にどう変わるのか。

想定される Scope1・2・3 それぞれの業務負荷とともに、今から準備すべき実務のポイントを整理します。

（登壇者：株式会社パソナサステナビリティ 営業部 副部長 村川恵利加氏）

### ・第 4 部：「電力データの時間粒度管理と、将来に耐えるデータ基盤づくり」

Scope2 を中心に求められる電力データ管理は、月次から時間粒度へ。

時間単位で把握・整理する潮流を踏まえ、現時点で企業が進めておくべき拠点・契約マスタ整備を紹介します。

（登壇者：株式会社インボイス 事業企画部 部長 大口 慎矢）

## ■このセミナーでわかること

- ・GHG プロトコル改定が「なぜ起こり」「何が変わるのか」という本質的な理解
- ・Scope1・2・3 それぞれで、実務負荷がどこから増えるのかの具体像
- ・管理部門（財務・経理）を含めた、GHG 算定業務の関与範囲の広がり
- ・将来の制度改定・監査対応を見据えて、今から整備すべきデータ・体制の考え方

## ■こんな方にオススメ

- ・プライム企業のサステナビリティ推進室で GHG 算定を担当されている方
- ・Scope1・2 は対応しているが、Scope3 の精緻化や実データ収集に課題を感じている方
- ・SSBJ 対応を見据え、現行の算定・運用フローに不安を感じている方
- ・GHG プロトコル改定に「後追い」ではなく、先回りして準備しておきたい方

芙蓉リースグループは CSV(Creating Shared Value : 共有価値の創造)の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとして持続的な成長を目指しております。マテリアリティのひとつである「脱炭素社会実現への貢献」については、多様なエネルギー関連事業等を国内外で展開するとともに、お客様の排出量の把握・管理の高度化に向けた可視化支援、開示サポートにも取り組みを広げ、さまざまなフェーズにおけるサービスを展開することで、お客様の課題解決と豊かな社会の実現に貢献してまいります。

## ■ 本件に関するお問い合わせ

株式会社インボイス 事業企画部 大口

03-5275-7241